

社会福祉法人昴会「四季の郷」利用者の権利擁護のための職員行動指針

基本姿勢（利用者の“生き生きとした暮らし”を支える4つの柱）

- 私たちは、利用者の人権を守り、一人の市民として“普通”の暮らしができるように支援を行います。
- 私たちは、利用者の意欲を育み、主体性を大切にした支援を行います。
- 私たちは、利用者が安心して暮らしていけるような生活環境をつくります。
- 私たちは、常に質の高いサービスを提供するために、自己研鑽に努めます。

“普通”の暮らしを目指した支援

- 一人の人として敬います。
- 一人ひとりに合った楽しみが持てるようにします。
- 一人ひとりの思いや希望を大切にします。
- 生活の流れやリズム、活動内容でも“普通”の暮らしができるようにします。
- 地域住民の一人としての活動参加の機会が持てるようにします。

主体性を大切にした支援

- 自分で選び、自分で決めることができるようお手伝いします。
- 利用者が決める機会を大切にし、利用者が決めたことを大切に扱います。
- できるところは自分で行えるように働きかけを行います。
- ほめることで、やる気・意欲を育みます。
- 一人ひとりの生活歴、生活習慣を尊重します。

安心できる生活環境づくり

- プライベートな時間と場所を大切にします。
- 一人ひとりの好みや希望、年齢や心身の状態に合わせ、安寧・安全な環境を整えます。
- 日常的な健康状態の把握や健康診断等を行い、健康維持と病気の早期発見・治療に努めます。
- 利用者からいつでも気軽に声を掛けてもらえるように努めます。

専門性を高めるための自己研鑽

- 自分の役割や任務を常に意識して業務します。
- 利用者からどのように見られているかを常に意識して業務します。
- 利用者の思いや希望を常に追及しながら業務します。
- 一人ひとりに合わせた介助や支援、関わりができるように努めます。
- 施設内・外の研修会・講習会には、積極的に参加します。

4つの柱を支える関わりの土台

- 誰に対しても「〇〇さん」と呼びます。
- 一人ひとりに合わせた丁寧な言葉やコミュニケーション手段を用いて話し掛けます。
- 足を止めて、顔を見て話を聞きます。
- 職員の「待っててね」の言葉から不安を抱かせないように注意し、対応の工夫をします。

※私たちは以下のような行為は絶対に行いません。

- ・身体的虐待…体を叩く、食事を抜く、部屋に閉じ込めること
- ・心理的虐待…おびえさせるためのにらみや大声での威嚇、無視をしたり、その日の気分で対応を変えること
- ・性的な虐待…排泄や生理のことを人前でしゃべることやワイセツな言葉をかけること
- ・介護の放棄(ネグレクト)…食事を食べさせないこと、濡れているオムツや下着を替えないこと、衣服や部屋の汚れの放置
- ・虐待の容認…上記その他の虐待や体罰を容認すること